



校長：太田哲也氏

複数のトップカテゴリー・レースで活躍した自動車評論家、レーシングドライバー。現在はアクシデント・ゼロを掲げたドライビングレッスンを積極的に提案している。

text&photo:Hidenori TAKAKUWA(高桑秀典)
photo:Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局
主催:スポーツドライビングジャパン内
Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局

injured ZEROプロジェクト・
今回のテーマ



SAMPLE

ツインリンクもてぎ 南コースで 安全運転の肝を学ぶ

モータージャーナリストでありレーサーでもある太田哲也氏が校長を務める「injured ZERO プロジェクト」とは、一般道における死亡・負傷事故をゼロとすることを目標として、国土交通省後援安全運転推進事業の一環として実施されているドライビング・スクール。クルマの運転が上手くなれば安全につながるという基本理念のもと、座学と実践で安全運転と交通マナーを楽しく学んでいるのだ。今回は、その趣旨に賛同しているツインリンクもてぎが会場となった。

去る11月28日に開催されたこのスクールは「太田哲也から学び、乗りこなす! SUBARU DRIVING ACADEMY with injured ZERO プロジェクト」と銘打たれたもの。抽選で選ばれ、全国各地から駆けつけたスバル車オーナーを対象としたドライビングレッスンだ。

今回ツインリンクもてぎが会場となったのは、ドライバーの漫然運転およびミス無くして事故ゼロを目指すというinjured ZEROプロジェクトの取り組みに、同サーキットが賛同しているからだ。今回も、参加者たちは南コースおよび東

コースを使った充実のドライビングレッスンを受講することができた。

さて、今回はサーキット走行未経験者を対象としたベーシック・クラスが中心で、広大なスペースに白線でコースが描かれ、コース全体を上から見渡せる南コースが最初の走行ステージとなった。

まず、緊急回避を想定して、高速域からあえて急ブレーキ、急ハンドル操作を行うという基礎運転練習を实践。このフルブレーキング/パイロンスラロームの後、南コースを使っての先導



緊急回避の際に運転者は「認知・記憶・判断・動作」という一連の情報処理メカニズムを経て障害物や人を避けている。しかし、一般のドライバーは記憶＝経験値が少ないため、とっさのときに対応できない。そこで太田校長によるドライビングレッスンでは、受講者が急ブレーキと急ハンドルを経験することを重要視しており、もてぎの南コースのような平坦かつ広々とした安全な場所を会場としている。今回のメニューは、水を撒いた路面でのフルブレーキング（ABS体験）とパイロンスラロームだった。なお、講師陣によるスラローム走行デモンストラーションに、太田校長はパドックから参加者たちにスラローム走行レッスンのポイントを解説。



パイロンスラローム走行レッスンは、合い間に客席講師によるアドバイスタイムが設けられた。また、太田校長がドライブするクルマに同乗してのスラローム走行体験もあり、座学で学んだ荷重移動を使うとよく曲がることを実感することができた。



太田校長による座学では、緊急回避は知識と経験により可能となること、摩擦円（図形）を使ったタイヤのグリップ変化のこと、加速時/減速時の荷重移動のことが分かりやすく説明された。富士重工業 車両研究実験第2部 主幹 長野 永さんによる講義では「ドライバーは運転に必要な情報の80～85%を視覚から得ているので、スバルでは視界作りがこだわっている」ことが語られた。南コースをフルに使った先導走行とアドバンス・クラスのフリー走行もあった。

SAMPLE

カリキュラムは座学と実践でバランスよく。安全なコースで様々な体験も。

走行、アドバンス・クラスのフリー走行、講師陣が運転するクルマへの同乗走行などを経て、国際レーシングコースである東コースへと移動する。

東コースでの走行では、午前中の座学で学んだ荷重移動の重要性と、基礎運転練習で実際に体験した荷重移動を使うとスムーズに走れるといった経験を強く意識することがポイントとなった。

参加者たちは広大な南コースで、他の参加車両を実際に見渡すことで、クルマの挙動について客観的に学ぶことができ、さらには自らがステアリングホイールを握ったドライビングレッスンで、運転の楽しさや荷重移動の重要性を体感することができた。

それぞれがスキルアップした受講者は、この日学んだドライビングの理論と実践を、日々の運転に役立てると共に、交通安全や事故防止への意識をより強めることもできたといえるだろう。



午前中に座学をみっちり行いつつ、ランチタイムにトークショーがあったり、食後に集合写真を撮影したり、同乗走行/体験試乗があったりと、injured ZEROプロジェクトドライビングレッスンは内容が盛り沢山だ。



当日は、現役の大学生を中心としたクルマ好きのサークル「Next Car Generation」のメンバーが、ドライビングレッスンをサポート。また、お馴染みのHonda Collection Hallでは、ちょうど企画展「34連敗からの挽回劇〜JTCCシビック&アコード挑戦記〜」が開催中だった。

